

## 2018年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：台湾 輔仁大学

留学期間：2018年2月～2019年1月

今回の留学を一言にするとただただ楽しかったという一言に尽きます。台湾での生活は何もかもが新鮮で、為になることで、自分の形成する大きな経験となったと感じているからです。

留学の目的として、語学力の向上はもちろんのこと、かつて日本が統治していた台湾での日本のイメージはどうか、またかつての文化は残っているのかなど日本と台湾の関係が知りたいと思っていました。なんとなく台湾は親日で日本にも多くの人を訪れると聞いていましたが、実際はどうか、日本がたまたま好きだから日本に来るだけなのではないかと思っていました。しかし実際には本当に台湾には日本を快く思ってくれる人が多く、日本人に対して優しい人が多かったです。私は滞在中台湾のあちこちを旅行しましたが、そのいずれの場所でも、日本人だというと満面の笑みで対応してくれることが多かったです。私は外見からよく韓国人と間違われることが多く、最初は普通の対応でした。ですが日本人と分かったところからよりフレンドリーに対応してくれる人に多く出会いました。そして日本の会社も関わっているものは台湾に多く見られ、日本人旅行者向けの日本語の表記は至る所で見られます。他にもどんなに田舎に行っても、日本の統治時代の建物が残っていたり、その土地で功績を残した日本人がたたえられていたりする様子をよく見ました。もちろんすべての人が日本を好きというわけではありませんが、日本人と台湾人はどこか通じるものがあり、日本文化を今でも大切にしてくれているということが良くわかりました。

また語学面においては一番リスニング能力が伸びたと感じています。私が一番為になったと感じたのはローカルフード店でのやり取りです。特にフルーツジュース屋さんの方々には大変よくしてもらいました。こちらが留学生で中国語があまり上手くなく、でも練習したいということがわかってくれたので、ゆっくり・はっきり喋ってくれました。リスニングも日を追うごとに聞き取れるようになり、話すのも少しずつ多くなっていきました。日本語がわからない、でもこっちの話をゆっくり聞いてくれる存在は語学力を大いに高めてくれる存在だと思います。最初はわからないということが苦であり、自信を無くしてしまうことでしたが、今ではわからないことが新しいことを学べるチャンスであり、とても楽しみなこととなりました。帰国してまだまだ自分の中国語力には満足できていないので、これから更なる向上のために現状を落とさないようにし、さらに勉強していきたいと思っています。

## 2018年度 交換留学 留学報告書

日本語日本文学科 3年

留学先：台湾 輔仁大学

留学期間：2018年2月～2019年1月

留学は私にとって大きな決断でした。留学は私に出来るものなのかと不安に思い留学を迷った時もありました。しかし、それ以上に留学をして中国語を伸ばしたいという気持ちが強かったので、思い切って決断することにしました。留学を終えて、あの時思い切って決断して良かったなと思っています。留学した1年間は本当に充実した濃い1年間を過ごすことができました。留学する前と後では、語学だけでなく考え方など大きく変わったのではないかなと思います。文化が違う人と交流する事や台湾で生活することは異文化をより理解することができ、自分の視野が広がりよい経験になったと思います。留學生活では中国語の授業やルームメイトなど外国人の留学生とも交流がありました。そんな中で多様な価値観に触れ、いろいろな考えの人がいるんだなど実際に肌で感じる事ができました。ルームメイトなどとコミュニケーションをとる時はどうしても英語での会話になってしまい、自分は英語が全く話せないのもどかしい思いをしました。でもこのような経験は日本ではないと思うので良かったなと思います。

他にも、留学は日本では経験できないような貴重な体験をたくさんすることができました。なかでも夏休みに高雄に行き友達の実家にホームステイをしたことはいい思い出になりました。ホームステイ中、観光スポットに連れて行ってくれたりご飯を御馳走になったりと、たくさんおもてなしをしていただきました。さらには友達の祖母のお家に来訪させていただき手料理を振る舞っていただきました。友達のおばあちゃんは中国語を語せなくて台湾語しかしゃべることができなかったのですが、台湾には中国語を話せない人が意外と多いのだなと思いました。私は台湾の歴史、文化について全く知識がないまま台湾に行ったのですが、このように台湾での生活や旅行を通して台湾と日本のつながりや台湾の歴史や文化などを学んでいき、台湾の奥深いところまで学ぶことができました。

学習面では台湾に来たばかりの頃はなかなか中国語が伸びなくて焦る気持ちと心配に思う気持ちで落ち込んだ時期もありました。しかし、それにめげずにコツコツと勉強を続けていたら中国語が少しずつ中国語が伸びていきました。現地で中国語を勉強することは日本で勉強している時と比べて遥かに語彙力が増えました。また、日本で勉強した単語を台湾で実際に使ってみるとあまり言わない言い方だったり、自分が思っていた意味とちょっとニュアンスが違ったりして、本場の中国語を学ぶことができたので良かったなと思います。